

伝統織物の美 発信で地域振興

まちづくりセミナー

まちづくりの最先端を学ぶ連続講座「まちづくりセミナー2024」が27日、富山市立図書館本館(西町)で始まった。初回の講師を務めた服飾史家・中野香織さん(富山市出身)は、地域の文化や伝統から生まれる付加価値を「ラグジュアリー(高級)」と表現し、その大切さを訴えた。

セミナーは、にぎわい創

出に取り組むNPO法人「GPネットワーク」が主催。3月までに3回、講師を変えて行う。

中野さんは兵庫県西脇市の播州織を通じた地域活性化など国内外の事例を紹介し、「外から見たら気づく美をラグジュアリーとして発信することが地域の産業観光につながる」と訴えた。

南砺市城端の「松井機業」が作る伝統織物「しけ絹」は繊細な生地が服飾に向か

ないとされていたが、あえてしけ絹で作ったドレスも会場で披露された。制作したデザイナーの高松太郎さんは、世界的な高級ファッションブランドで勤めた経験があり、「しけ絹の職人に魅せられ移住した。職人の物語を買い手が受け入れる市場を作ることも大切だ」と語った。セミナーは無料。次回は2月17日。

—●●●●●—



「しけ絹」を使ったドレス

が披露された会場(27日、

富山市立図書館本館で)